

児童発達支援 事業所評価集計表（保護者等向け）

一般社団法人FiveLeaf

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	これからの対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動スペースが十分に確保されているか	60%	35%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・児発と放デで分かれていることで十分なスペースが確保されている ・活動によっては狭く感じる 	2つある建物の部屋や庭等使いスペースの有効活用をしているが、雨天など外での活動が出来なくなった時に狭さを感じるため、室内でも楽しめたり児童の身になる活動計画を立てる等して工夫を図っていく。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%				定員10名に対し、現在正規・非正規職員合わせて8名（児発管・児童指導員3名・保育士・経験者）在籍し、状況に応じた配置もなされており適切であるが更に専門性を高められるような取り組みを展開したい
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ事業所の設備等はバリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切に なされているか	80%	20%		<ul style="list-style-type: none"> ・一部バリアフリー化されていないが子供達が訓練にもなるので良いと思う 	借家であるためバリアフリーに対する大きな改修はできないが、工夫をして危険を感知できるようにしていきたい。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	90%	10%		<ul style="list-style-type: none"> ・いつも清潔で整頓されています ・冬は寒さを感じる 	毎日の清掃、除菌・消臭、除菌水の噴霧等継続的に行っている プレイルームの窓を2重にする工事を実施。防寒対策はできる限り実施していく。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・親のニーズ、子供の現状を細かく分析した上での計画だと感じます 	定期的な懇談等も行い情報交換も行いながら計画に反映していきたい。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	90%	10%			支援内容の説明は行っているが、ガイドラインの内容説明は不十分なところがあるかもしれないため、まず職員がガイドラインについて詳しくなり今後説明をおこなっていききたい
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・専門指導の先生方とともに職員の皆さんが細かな支援をしてくれています。 	一人一人の計画の確認を行い、支援に当たるようにしている
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・毎日子供が活動を楽しくしています 	楽しんでもらえるよう取り組み組んでいきます
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	30%	50%	20%	<ul style="list-style-type: none"> ・交流しているかわからない 	交流と呼べるほどの機会はまだまだないため少しずつ進めていきたい
	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				できる限り丁寧な説明に心がけている
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	100%				

保護者への説明等	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（パ・アルト・トルニガ等）が行われているか	60%	35%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて面談や相談の時間を設けていただき感謝している ・困ったときなどいろいろなことを教えてくれて大変助かっている 	今後も現在の取り組みを続けていきたい
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・細かなことでも送迎の際や電話、連絡帳で伝えてくれて課題や喜びを共感してくれる 	報連相を怠らず今後も行っていききたい そのための手段を今後も工夫していききたい
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧に優しく接してくれて相談もしやすい ・困ったときは急遽面談を組んでくれる 	いつでも話しやすい環境づくりと、助言に対する知識を付けるための勉強をしていきたい
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	70%	25%	5%	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一度保護者が集まる機会を設けてもらっているがなかなか参加できず連携までは取れていない 	今後も定期的な機会を設け、参加者も増えるような取り組みを行っていききたい
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の整備がされているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	90%	10%			対応職員不在時は迅速な対応に欠けるときもあるため職員のレベルアップを図り対応できる職員を増やしていききたい
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・子供の特性に応じたやり取りを考えて実施してくれている ・連絡ノートでのやり取りで情報交換ができている 	軽微な情報はSNSを活用し、現代に合わせた対応ができているが、情報の保護の部分においてSNSの活用を十分気を付けていききたい
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動の概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページを見て楽しそうな活動をいろいろ拝見しています 	毎月のお便り発送は開所当初から欠かさず行っているが、ホームページの更新も細かく実施していききたい
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	100%				
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	70%	30%		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月の避難訓練の実施は把握できているが実施している内容まで把握できていない時がある 	実施内容の伝達を行っていききたい
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	80%	20%			毎月実施しているが実施報告を保護者にも目に見えるような形でやっていく
	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	95%	5%		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日車から嬉しそうに走っていきます ・家にいるときからすごく楽しみにしていて子供も親も大好きな場所です 	

満足度	⑳	事業所の支援に満足しているか	100%		<ul style="list-style-type: none"> ・とても細やかな配慮に感謝しています ・精神的にも親として大変助かっています ・お外遊びをもっと増やしてもらえたら嬉しいです 	<p>嬉しいお言葉ありがとうございます。これからもお子様方の心を育む取り組みや活動を考えて職員一丸となり療育やサポートに当たりたいと思います。要望に関しても遠慮なくお伝えください。</p> <p>お外遊びに関しましては自由遊びの時間に屋外・屋内子供たち個々に選択していただいています。選択する際に子供たちにわかりやすい説明ができる工夫をしていきます。</p>
-----	---	----------------	------	--	--	---

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	これからの対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	90%	10%		・2つ目の建物のみかん（通称）ができてよかった	2つある建物の部屋や庭等使 いスペースの有効活用をして いるが、雨天など外での 活動が出来なくなった時に 活動によってはまだ狭さを 感じる時があるため、室内 でも楽しめたり児童の身 になる活動計画を立てる等 して工夫を図っていく
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	100%			・人数が増えてきて いるためMT・OT・ STなどの専門指導日 が増えると尚良い	定員10名に対し、現在正 規・非正規職員合わせて8 名（児発管・児童指導員3 名・保育士・経験者）在籍 し、状況に応じた配置もな されておき適切であるが更 に専門性を高められるよう な取り組みを展開したい ・専門指導に関しては講師 にも日数を増やすお願いを しているが当面は現状で進 めていくこととなります
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	70%	25%	5%		借家であるためバリアフ リーに対する大きな改修は できないが、工夫をして危 険を感知できるようにして いきたい
適切 な支 援の 提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100%				保護者との面談を年2回以 上設け、日々の引継ぎのほ かにニーズ調査を行い計画 に反映しているが不足もあ るかと思うのでより親密に 保護者とも関りを持ち状況 把握に努め計画に策定・実 施につなげていきたい
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	100%				2年目に入りマンネリ化を 防ぐため、担当者を月ごと に変えてあらゆる角度の目 線で計画立案に努めている が、それがマンネリ化防止 になっているかわからない ため利用児や保護者の意見 をもらいながら計画を作っ ていきたい
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	40%	40%	20%	・やっているかわからない	交流ができる児童クラブ等 を探し、交流が持てるよう 努める
	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	100%			・お迎え時に今日の 様子を伝えてくれたり 学校の様子も聞いて きてくれて伝えて くれたり、とても安 心しています	細かな対応ができるよう今 後も共通理解を図れる努力 をしていきます

保護者への説明等	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・面談や助言のおかげで大変助かっております ・急な面談にも対応してくれて大変助かっております 	助言するにあたってのスキルを身につけていくため個々のレベルアップを図っていきます
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	70%	30%		<ul style="list-style-type: none"> ・集まる機会を設けてもらっているが参加できていない 	毎月集まれる機会を設けているが参加率がまだ低いため参加率を上げるため開催日や内容等検討していきたい 案としては療育参観日を設ける
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	90%	10%			苦情は特になかった
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				軽微な情報はSNSを活用し、現代に合わせた対応ができていますが、情報の保護の部分においてSNSの活用を十分気を付けていきたい
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	95%	5%			毎月のお便り発送は開所当初から欠かさず行っているが、ホームページの更新も細かく実施していきたい
	⑭	個人情報に十分注意しているか	100%				
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	75%	20%	5%		行ってはいるがそれが左記のような説明と理解されていないのが現状のため、再度説明を実施する必要性を感じている
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	80%	20%			毎月実施しているが実施報告を保護者にも目に見えるような形でやっていく
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	100%			<ul style="list-style-type: none"> ・おやつ作りは特に楽しそうです 	
	⑱	事業所の支援に満足しているか	100%				

児童発達支援 事業所評価集計表（事業者向け）

一般社団法人FiveLeaf

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点、改善内容
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			建物が増えたため人数の多い日は職員を振り分けて活動に最適なスペースを確保している
	②	職員の配置数は適切である	○			定員10名に対し、現在正規・非正規職員合わせて
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	○			借家であるためバリアフリーに対する大きな改修はできないが、職員ができる範囲で設備の整備を行っている
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○			毎日の清掃、除菌・消臭、除菌水の噴霧等を行っている
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			来年度は人事考課を導入する
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケートの実施と公表、また結果を職員に周知し全員で改善に対する取り組みを行っている
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の開放やホームページ等で公開している	○			アンケートの実施と公開を行っている
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		外部評価は未実施
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			内部研修は計画に基づき実施 外部研修は必要に応じて積極的に参加している
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			保護者との面談を定期的に実施している
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			専門指導職員とも連携しより効果的なツールを使用するため備品整備も含め行っている
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」は適切な選択がなされている
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			計画を全職員に周知し計画に基づいた支援が展開できるように取り組んでいる
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			毎月担当者を中心に立案している プログラムのマンネリ化を防ぐため複数で担当する
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			季節に応じた活動や事前に受けたい子供の状況を踏まえ固定化しないよう利用者が楽しめる内容を考えている
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	○			全体のバランスを考慮し作成している
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			毎朝利用児の確認・活動の確認、職員配置から実施している
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有している	○			毎日ミーティングを行い振り返りをおこなっている 記録もとり、ミーティング不参加職員には別途連絡している
⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			気づき・振り返り等も含め記録をして、支援に問題点があれば検証・改善に対する話し合いを実施している	

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		児発管を中心に関係機関との協議、担当者との打ち合わせ等実施し見直している
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		会議には児発管が参加している
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	直接的な連携は少なく、今後積極的にアプローチしていきたい
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている		○	現在は在籍していないが必要に応じて行っていく
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている		○	現在は在籍していないが必要に応じて行っていく
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		情報交換・意見交換を通じ情報共有と相互理解を図っている
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		児発から放テへ切り替える児童が多くいたため要望に応じ積極的に会議へ参加し申し送り等行ってきた
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		機会があれば研修に参加しており、専門機関との連携も図れている
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		○	交流を持ってくれる保育園等を探し、今後定期的に交流の場を設けていきたい
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		矢板市の主催する会議へ児発管が参加している
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		個別学習後のフィードバックの時に情報交換をしながら相互理解を図っている
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		毎月実施している個別学習後の面談を通し行っている
保護者への説明責任等	㉜	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時・変更時に行っている
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		支援内容の説明は行っているが、ガイドラインの内容説明は不十分の可能性があるので、より丁寧な説明を行っていきたい
	㉞	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		個別学習後の面談は定期的を実施しており、助言や支援を行っている 要望に応じた個別面談や急な面談にも対応している
	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者会等はないが、保護者が集う場の提供は毎月実施しているがより多くの保護者に参加してもらえるよう内容の見直しも行っていく
	㊱	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		迅速な対応に心がけている
	㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月お便りを発行している 専用のSNS(LINE@)を活用し迅速かつ確実な情報発信に心がけている
	㊳	個人情報の取扱いに十分注意している	○		事務室にて管理している
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		絵カードの使用等工夫している

	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	地域で開催されるイベントへの参加はあるが、地域交流行事を実施していないため今後計画し実施していきたい
非常時の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している		○	マニュアルは整備され、訓練の実施も毎月実施しているが保護者へ実施内容がわかるよう伝達していきたい
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		毎月実施している
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	○		契約時の調査票にて確認している
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされている		○	保護者からの聞き取りで把握はしているが指示書の確認は実施できていないため今後行的確な対応をしていく
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○	事例集の作成はないが事例を基に研修を実施している
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○	研修計画に基づき実施する
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			○

放課後等デイサービス 事業所評価集計表（事業者向け）

一般社団法人FiveLeaf

区分	番号	項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、 工夫している点、改善内容
環境・体制	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			建物が増えたため人数の多い日は職員を振り分けて活動に最適なスペースを確保している
	②	職員の配置数は適切であるか	○			定員10名に対し、現在正規・非正規職員合わせて16名を確保しているが、現状では定員に満たないため、職員がカバーできる範囲で設備の整備を行っている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			来年度は人事考課を導入する
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			アンケートの実施と公表、また結果を職員に周知し全員で改善に対する取り組みを行っている
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			アンケートの実施と公開を行っている
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	外部評価は未実施
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			内部研修は計画に基づき実施 外部研修は必要に応じて積極的に参加している
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者との面談を定期的に実施している
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		専門指導職員とも連携しより効果的なツールを使用するため備品整備も含め行っている
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			毎月担当者を中心に立案している プログラムのマンネリ化を防ぐため複数で担当する
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			季節に応じた活動や事前に受けた予約の状況を踏まえ固定化しないよう利用者が楽しめる内容を考えている
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		長期休みの活動の充実を今より図っていきたい
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			全体のバランスを考慮し作成している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝利用児の確認・活動の確認、職員配置から実施している
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有しているか	○			毎日ミーティングを行い振り返りをおこなっている 記録もとり、ミーティング不参加職員には別途連絡している
	⑰	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			気づき・振り返り等も含め記録をして、支援に問題点があれば検証・改善に対する話し合いを実施している
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			児発管を中心に関係機関との協議、担当者との打ち合わせ等実施し見直している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			
	連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
㉑		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			学校によっては毎月確認調整を行い、その他でも年度初め、学期の切り替わり時期等を含め連絡調整を行っている また行事年間計画をいただく等学校行事の把握に努めている
㉒		医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在は在籍していないが必要に応じて行っていく

関係機関や保護者との連携	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		直接情報交換・共有を行っている
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	未だ事例がない
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		機会があれば研修に参加しており、専門機関との連携も図れている
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	近隣の児童クラブや児童館等と連携し今後定期的に設けていきたい
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	矢板市の主催する会議へ児発管が参加している
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		個別学習後のフィードバックの時に情報交換をしながら相互理解を図っている
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	毎月実施している個別学習後の面談を通し行っている
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時・変更時に行っている
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		個別学習後の面談は定期的を実施しており、助言や支援を行っている 要望に応じた個別面談や急な面談にも対応している
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者会等は無いが、保護者が集う場の提供は毎月実施しているがより多くの保護者に参加してもらえるよう内容の見直しも行っていく
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		迅速な対応に心がけている
	㉛	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月お便りを発行している 専用のSNS(LINE@)も活用している
	㉜	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		事務室にて管理している
	㉝	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		絵カードの使用等工夫している
非常時の対応	㉞	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	地域で開催されるイベントへの参加はあるが、地域交流行事を実施していないため今後計画し実施していきたい
	㉟	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知しているか		○	マニュアルは整備され、訓練の実施も毎月実施しているが保護者へ実施内容がわかるよう伝達していきたい
	㊱	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		毎月実施している
	㊲	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	研修計画に基づき実施する
非常時の対応	㊳	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○	身体拘束の実態がない
	㊴	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか		○	保護者からの聞き取りで把握はしているが指示書の確認は実施できていないため今後行的確な対応をしていく
	㊵	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	事例集の作成はないが事例を基に研修を実施している
	㊶	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか		○	保護者からの聞き取りで把握はしているが指示書の確認は実施できていないため今後行的確な対応をしていく

心	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		○		研修計画に基づき実施する
	④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている		○		研修計画に基づき実施する
	④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している			○	身体拘束の実態がない